

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8265
担当部課名	土木部	道路補修	課	狭あい道路
事務事業名	道路用地購入事業(市内一円)		事業コード	32220

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりのある道路の整備	5年度
施策名	第2施策	身近な道路の拡幅整備、道路舗装の推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

狭あい道路拡幅整備要綱 私道路敷整備要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的 道路環境の改善と防災機能や安全性の向上をめざし、狭あいな道路の拡幅整備を計画的に推進する。		(2) 対象(誰、何) 4m未満の道路に面して建築物を建築するもの。 位置指定道路等の私道を寄附しようとするもの。 対象数 約250件/年	
(3) 平成13年度事業の内容 土地開発基金からの買戻し  隅切り用地 51箇所 71筆 286.8㎡ 37,877千円		(4) 総合計画・実施計画における概要 狭あいな道路の拡幅整備の計画的推進  平成14年度目標 狭あい道路整備延長 42,400m 寄附道路整備延長 214,800m	
(5) 個別計画の概要			
計画名		年度～年度	
計画年次		年度～年度	

## 4 評価指標

指標名	隅切地取得率		
指標式	取得箇所数 / 対象箇所数 (1年間ごとの隅切地数で積算)		
指標設定の意図	道路通行の安全性の向上を図るもの。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	109	108	a 95	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	53,273	32,286	37,877	37,876	0
	人員・時間数	6.1人	4.6人	4.1人	4.1人	4.1人
	人件費	7,839	5,366	7,086	7,086	5,856
	その他経費					
	合計	61,112	37,652	44,963	44,962	5,856
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 95.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = 95.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
-----------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 隅切用地の買収にあたって、地権者の同意を得られない場合があるため。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 生活道路としての通行安全性、防災機能の向上が図れるため。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 費用としては、用地取得費とそれに伴う事務経費(人件費含む)のみであり費用対効果は高い。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 市道の整備であり民間への代替は考えられない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 車両通過の円滑化が図れるため。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 狭あい道路の解消は都市基盤整備を図る上で根底を支える事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 地権者との協議の中で隅切地の提供の協力を依頼するもので法的規制はない。 隅切地の必要性について理解を得たなかで、完全実施を目指したい。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 用地取得費は公共用地取得価格評価委員会の評価額以内であり、また登記等に係る経費についても一律であるため。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	本市においては、隅切り地の購入額をその都度評価しているが、他自治体においては定額とする例も見受けられる。
今後の進め方		説明	狭あい道路の解消は都市基盤整備を図る上で重要なものであり、その根底をささえる事例として、今後ともに着実に推進する必要があるものと思われます。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--